

## 集 会 ア ピ ー ル ( 案 )

3月11日の東日本大震災で被害を受けた福島第一原子力発電所では、今も大量の放射能が今も漏れ続ける原子力史上最悪の事故となり、依然として収束のめども立っていません。

放射能の汚染は広範囲に及び、多くの住民が長期の避難生活を強いられ、避難区域外の住民も高い放射線の中での生活を余儀なくされています。特に、放射線の影響を受けやすい子どもたちは、健康と生命(いのち)の危険にさらされています。

現在、青森県で建設中の大間原発は、危険性の高いプルトニウムを含むMOX燃料を世界ではじめて全炉心で使用する、プルサーマル発電を行おうとしています。大間原発は、函館市からわずか30キロに位置し、福島原発事故で30キロ圏内は屋内退避区域に指定されました。函館市議会などでは、「建設凍結」を求める意見書を可決しています。この最も危険な大間原発は、ただちに建設を中止させなければなりません。

泊原発3号機の増設やプルサーマル計画をめぐっては、北電による「やらせ」が発覚しました。また、「国の関与」も明らかになり、「道庁の関与」も指摘されています。こうした組織ぐるみの「賛成工作」が明らかになった以上、泊原発3号機は直ちに運転停止し、プルサーマル計画は、白紙撤回すべきです。

福島原発事故で日本の原発の「安全神話」は崩れました。私たちの命と暮らしを守るために、今こそ、原子力中心のエネルギー政策から、風力や太陽光など再生可能な自然エネルギー中心の政策へ転換しなければなりません。

みなさん、

大間原発の建設を中止させましょう！

泊原発を止めさせましょう！

プルサーマル計画を白紙撤回させましょう！

みなさん、

子どもたちを放射能から守りましょう！

そして、

すべての原発をなくしましょう！ さようなら原発！

2011年10月29日

**やめるべ、大間原発！10.29北海道集会**